

Title	慶應義塾図書館蔵『有善女物語』解題・翻刻
Sub Title	
Author	石川, 透(Ishikawa, Toru)
Publisher	慶應義塾大学国文学研究室
Publication year	2002
Jtitle	三田國文 No.35 (2002. 3) ,p.81- 86
JaLC DOI	10.14991/002.20020300-0081
Abstract	
Notes	資料紹介
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00296083-20020300-0081">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00296083-20020300-0081</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 慶應義塾図書館蔵『有善女物語』解題・翻刻

石川 透

## 解題

室町物語『有善女物語』は、有善女という女性の口を借りて念仏の法門を説くという物語である。浄土真宗では、仏教上の教理や、いわゆる御書を、漢字を中心とした真名文か、漢字片仮名交じりで記すことが多く、それを物語ふう記した作品もいくつか存在する。

本書については、松本隆信氏「増訂室町時代物語類現存本簡明目録」（『御伽草子の世界』、一九八二年八月）に、二本が著録されている。しかし、これ以外にも真宗寺院を中心に伝本があり、諸本の位置付け、並びに、内容の考察については、箕浦尚美氏「『有善女物語』考」（『語文』第七四輯、二〇〇〇年五月）が最新の成果である。

本書の書誌は以下の通り。

所蔵、慶應義塾図書館

番号、一〇X―四二〇

形態、綴葉、一帖

時代、「室町末期」写

寸法、縦二三・四糎、横一六・一糎

表紙、茶色表紙

外題、なし

内題、「有善女物語」

字高、二〇・〇糎

料紙、厚紙

行数、半葉五行

丁数、三〇丁

奥書、「江州 栗本出庭 / 西光寺」

印記、「慶應義塾図書館蔵」（朱印）

翻刻に際して、本文は底本のおもかげを残すように努めたが、漢字・異体字はおおむね現行書体に改めた。また、私に句点・読点・「」・「」括弧等を記し、改行も加えて読解の便宜をはかったが、煩瑣になるので（ママ）は記さなかった。擦り切れ部分は□にして示した。

## 有善女物語

大唐ノ并州トイフクニ、有善女トイフ女アリ。コノ女房ニ

アヒトモナヘル男二、有悪婆羅門トイフ居士アリ。コノオフトニ、念仏ヲ、ヨリくス、メントスルニ、ハラモン、ツヤくモチキス。

アルアカツキノネサメニ、ムツモノカタリヲハシム。女房ノ申スヤウ、「サテモ、夫婦ノカタラヒハ、イカホトノ縁ソ」トイフ。

婆羅門居士ノイハク、「コノヨ、一旦ノ約束ナラス。六道四生ノカナタヨリ、五道輪廻ノコナタマテ、ヒトツスミカノチキリナリ」トカタル。

ソノトキ、女房イフヤウ、「サテハ、ワレヲハ、疎略ナクオモヒタマフ歟」。

ハラモン、キ、テ、「中タイフニヤヲヨフ。ソラヲカケラハ、ヒヨクノ鳥、ミツニスマハ、ヒホクノ魚ノコトクニテ、カタトキモタチハナレズ、生々世々マテモ、アヒソハントコソオモフ」トイフ。

女房ノイハク、「ワレ、日比、念仏ノコトヲマウセトモ、キ、イレタマハネハ、チカラヲヨハス。ミツカラハ、コレ、白馬寺ノ善導大師ノ御弟子ナリ。十一ノトシヨリ聴聞申シテ、コトシハ十九ニナル。ワレハ、十七ノトシヨリ、コレニキタリシヨリコノカタ、ツネくハ、コノ物語ヲマウセトモカナハス。イマハ、オモヒキリテマウスナリ。善導和尚ノ御コトハニ、『世ハミナ、悪人ナリトイヘトモ、コトニ女ハ、悪業フカキモノナリ。汝、イカナル悪人、悪縁ニアフテカ、トモニ、地獄ニオチンツラン、不便サヨ』トオホセラレテ、御カナシミアリナリ。ソノ御コトハ、キモノメイシテ、我心ハカリニハ、毎日、念仏ヲ

コタラス。サレトモ、ヒトラス、ムルコトハ、カナハス。仏法ノオキテニハ、ミツカラ、ヨク信シテノウヘニ、人ヲラシヘテ、信セシムルヲ、大悲ノキハマリトス。ワレヲミタマフヘクハ、御念仏ヲマウシタマヘ」トイフ。

婆羅門、コタヘテイフヤウ、「ワレ、竹馬ノコロヨリ、殺生ヲコノミテ、ツミヲツクルヲ能トスルナリ。サヤウノ仏事ヲハスカス。殺生スルハオモシロシ。念仏マウスハムツカシ。ソレヲ、カヤウニス、メタマヘハ、フカキチキリモ、アサクオホヘテ、コ、ロツキナクオホユルナリ。ユメく、念仏ノコトハ、ノタマヒソ。ワレ、マタクキクヘカラス」トイフ。

女房、コレヲツクくキ、テ、「サテハ、『ナラサリナラスオモフソ』ト、オホセラレツルハ、タ、イツハリノ御コトハナリケル」トテ、ナミタラナカシマウスヤウ、「トテモ、ソノ義ナラハ、ノチノ世マテハ、ソヒハツマシキチキリナリ。コノ世一世ハ、ソフトテモ、カリノヤトリノウキイノチ、ツユニヤトカリンナツマノ、ヒカリノホトナル縁ソカシ。シハシノホトモ、夫婦トテ、ソヘハナコリノウキモノヲ、ナレテ中くナニカセン。イトマタヒ候へ」トイフ。

ハラモン、キ、テ、女房ノコトハノ、モタシカタサニ、「シハシコ、ロニシタカヒテ、ノチニナタメントオモヒケレトモ、タ、イトマラタテマツラン」トイフ。

女房、コノコトハヲキ、テ、十二一重ノキヌノツマヲ、タカクトリ、カチハタシニテ、タ、一人出トス。

ハラモン、コノアリサマヲミテ、「ソモく、ナニコトニ、コレホトニ、オモヒキリタマフソ。イカサマ、コトコ、ロノハン

ヘルカ。シカラスハ、ト、マリタマヘ。イトマトイフハ、一旦  
ノコトナリ」トテ、ト、メントス。

女房 申ケルハ、「ワレ、サラニ、コトコ、ロハンヘラス。ユ  
メ、コ、ロサシノ、ヲロカナルニモアラス。モトヨリ、此  
世ハ、会者定離ノサカヒ、アフハ、ワカレノハシメナリ。イキ  
テワカル、モ、シ、テハナル、モ、人間八苦ノナラヒナレトモ、  
死テワカル、ヨリハ、生テノワカレコソ、ワリナクハンヘレ。  
ソノユヘハ、シ、テノワカレハ、ナラ、生死無常ノナラヒナレ  
ハ、人目実モヤルカタアリ。イキテ夫婦ノワカレコソ、人目モ  
実モカナシケレ。一夜二夜ノチキリタニ、千世モトナケクハツ  
マソカシ。マシテ、コノ三年ノホト、アヒナレタルナコリトイ  
ヒ、アカヌワカレノカナシサトイヒ、カタ、ワスレカタケレ  
トモ、イカテカ、後生ニカヘテ、トモニ地獄ニハ、オチサフラ  
フヘキ。サテコソ、イトマヲコヒハンヘレ。ワレラカヒトヲオ  
モフホト、ナラサリナラヌ中ナラハ、タトヒ、アラサルホカノ  
コトヨト、オモヒタマフトモ、ナトカ、一端ハキ、タマハサル  
ヘキ。イハンヤ、コレハ、後生菩提ノタメナレハ、御身ノタメ  
ニテコソハハンヘレ。人ノ命ノアタナルコトハ、江ノ辺ニツナ  
カサル舟ノ風情、マタハ、岸ノヒタイニ根ナシクサノコトク、  
今日アルハトテ明日ハナシ。シカレハ、漢ノ代ノコロニヤ、西  
王母、東方朔トイヒケンモノハ、三千年ニ一度花サキ、菓ナル  
蘭ノモ、ヲ、ミタヒクヒシヨハヒモ、タ、春ノ夜ノユメトナ  
リハテ、ウツ、ラカ一万歳、怕楚カ七百歳モ、ミナ、ムナシク  
ナリテ、昔語ニ、イマハナリヌルソカシ。マシテ、ワレラカカ  
リナルスカタ、ハカナキイノチノアリサマ、莊周カユメヨリモ、

アタニ、水ノウヘノアハヨリモ、ハカナキソカシ。無常ノ鬼ノ  
ナサケナキ手ニカ、リテ、冥途ノタヒニヲモムキナハ、六道マ  
チノナリ。苦ヲウケンコトモ、シナクナルヘシ。ヒトリ生  
シテ、ヒトリ死ニユク、中有ノミチコソモノウケレ。枕ヲナラ  
ヘシ夫婦ナレトモ、死スルミチニハトモナハス、タカヒ、タノ  
ムオヤコナレトモ、三途ノ苦ニハ、カハルコトナシ。一百三十  
六ノ地獄、サマノナリトイヘトモ、ナカニモ、コトニオソロ  
シキハ、等活、黒繩、阿鼻、無間ノ苦ナリ。コレラノ苦患ヲウ  
ケントキハ、タレカカハリテタスクヘキ。此世ノ中ノ罪業ヲハ、  
男ノタメ、女ノタメニ、ツクリヲケトモ、アノ世ノ苦患ヲハ、  
ツクルモノ□ミ、ヒトリ、カナシムトコソ、善導和尚ハトキタ  
マヒシカ。タトヒ、コレラノ聖教ヲモチキスシテ、夫婦ノナコ  
リヲオシムトモ、□州定千年、カキリアル命ナリ。イハンヤ、  
南浮ノ不定ナルイノチヲヤ。ヒト、サラニワカキニカヘルコト  
ナシ。トキ、スヘカラクオシムヘシ。トキ、マタ、ウツリヤス  
ク、ヒマユク駒ノカケキエテ、日月ハシルカコトクナリ。梅モ  
桜モチリヌレハ、シケル梢ノホト、キス、ホトスキヌルトヲト  
ツレテ、アラミナ月ノス、シサニ、アキカセハヤクタチワタリ、  
モミチノ橋モ、オチチリヌ。ツキニハ、オヒソノモリノツユ、  
クロカミ山ノ霜雪モ、ウハヤオウチカ身ノウヘニ、フルホトモ  
ナクキエテユク、黄泉ノミチトキ、ナカラ、イカテカ、シハシ  
モト、マルヘキ。イトマタフマテコソ、ウレシケレ」トテ、女  
房、ハシリイテニケリ。

婆羅門、コレヲカナシミテ、二三町走追テ、ト、メケレト  
モ、アマサへ、返事ヲタニモセス。「タレカイヒシ、花モノイ

ハストハ、輕激トシテ、カケ唇ヲウコカス」トコソ、フルキ  
コトハニモハンヘルニ、コノ女房ノ、モノヲタニモイハヌ、ク  
チヲシサヨ」トテ、六七町ハシリテ、「イカニ、イカニ」トイヘ  
トモ、ミモカヘラス。

ハラモン、アシスリヲシテ、ミラクリケルニ、ハルカニユキ  
ノヒテ、女房、タタウカミヲオトシテユク。ハラモン、コレヲ  
トリアケミレハ、誓状文ナリ。「仏陀三宝ヲハシメタテマツリ、  
コトニハ釈迦彌陀ノ大悲本願ノ利益ニモレ、来世ニハ、カナラ  
ス無間ニ墮在ストモ、マタク、御身トモノマウスコトアラシ」  
トカケリ。

女房ハ、ソノアヒ十里アマリナルミチヲスキテ、父母ノタチ  
ニカヘリヌ。父母、コレヲアヤシミテ、「イカニ、カク、カチハ  
タシニテ、キタレルソ」ト問。アリノマ、ニカタル。

「サテハ、ヨクキタリタリ。ヨケテナカヘラメクラスハ、テ  
ウカノサトノクルマチ、馬ヲヒカヘテト、メシハ、シレイセキ  
ノ、マキノミチ、ヒトタヒ人身ヲウシナヘハ、万劫ニモカヘラ  
ス、イクホトモナキ世ノ中ニ、サヤウノ悪人ニトモナヒテ、後  
生ラムナシクセンコトハ、後悔ストモ甲斐アラシ。カシコクモ、  
オモヒヨリケルモノカナ」トテ、父母トモニ、ヨロコヒケルト  
コロヘ、婆羅門オフテキタリタリ。

「女房ハ、コレニカ」ト問ケレハ、ウチヨリ答テイフヤウ、  
「女房ハ、キタリテサフラヒツルカ、ナニコトヲカ、思キリケ  
ン、尼ニナリテ、コレヨリ北ナル淨土堂トマウス寺ニマイリヌ」  
トイフ。

ソノトキ、ハラモン、ナミタヲナカシ、「コレハマコトカ、ソ

ラコトカ。浮世ハ、サテモクレタケノ、葉ニラクツユノ池トナ  
リ、淵トナルマテトコソ、タノミシニ、タ、カリソメノコトノ  
ハラ、マコトノ別ニナシハテ、尼ニナルホトニ、オモヒキリ  
ケンコトコソ、ウラメシケレ。コレホトアタナルチキリヲハ、  
ナニトムスフノ神ナレハ、ヒキアハセケンウタテサヨ」ナント、  
イヒケレハ、父母、コレヲキ、サスカニ袖ヲヌラシケリ。  
ハラモン、ナラモタヘカネテ、「タトヒ、尼ニハナリタリトモ、  
タ、ヨヒカヘシタヒタマヘ」トイフ。

シウト、シウトメ、アハレニオホエケレハ、「ソノ義ナラハ、  
女房ヲハ、御目ニカケハンヘラン。タ、シ、男ト尼トノ対面ハ、  
逆ナルヘシ。入道ニナリタマヘ」トイフ。

婆羅門キ、テ、「コノ御前タニ、カヘシタマハ、」トテ、ヤカ  
テ、カミヲソリ、衣ヲキテ、ニハカニ入道シタリケリ。

父母、コノスカタラミテ、「コノウヘハ」トテ、ムスメヲヨヒ  
イタシケレハ、女房、ウチヨリ出合タリ。父母、「コレマテソ」  
トイヒテ、娘ヲモニニナシタリケリ。

婆羅門ハ二十五、女房ハ九十九ニテ、俄ニサマヲカヘテ、タカ  
ヒニ、コレヲ善知識トシテ、ウチツレテ、ワカイヘニカヘリヌ。

サテ、女房、マウシケルハ、「一樹ノカケニスミ、一河ノナカ  
レラクムモ、先世多生ノチキリナリ。マシテ、夫婦ノチキリト  
イヒナカラ、入道ニナリ、尼ニナリテモ、二度、カヤウニ、カ  
ヘリアヒハンヘルコト、真実フカキ縁ナルヘシ。法華經ノ説ニ  
ハ、「善知識者、是提因縁」トハンヘリ。仏法ハ縁ニヨリ、住生  
ハ信ニヨルトコソ、ウケタマハリサフラヘ。尼カス、メラ縁ト  
シテ、念仏申タマヘ。アル經ノ文ヲ聴聞セシカハ、「ヒトラ一

人ス、ムレハ、タカサ十丈ノ金ノ卒都婆ヲ、一万五千本造立シ、十度マテ、造立供養シタル功德ヨリモ、念仏一返ス、メタル功德ハ、ナラスクレタリ。カナラス、生死ハナレテ、トモニ極楽ニ生ス」トトカレタリ。コノ経文ヲキ、テ、カヤウニマウシハシヘルナリ。ワレニ、マコトノコ、ロサシ、マシマサハ、セメテ、鐘ノコエヲキカシタヒニ、念仏ヲ申サセタマヘ。ソノユエハ、天竺ノ祇園精舎ト申寺ニハ、四十九院ノ仏閣アリ。ソノウチニ、療病院、施薬院、安養院トマウステラ、四方ニアタリテ、ツキカネアリ。鐘コトニ、『諸行無常、是生滅法、生滅々已、寂滅為樂』トイフ文ヲ、ヒ、カスナリ。コレニヨリテ、カノ寺々ヲウツシテ、在々所々ニカネヲツキテ、四方ノヒト々ニ、無常ヲシメシハンヘリ。シカレハ、今日ヨリハシメテ、入合ノカネノキコエントキハ、諸行無常トコ、ロエテ、『南無阿弥陀仏』トマウシ、乃至、アカツキノ鐘ヲキ、テモ、オリ々コトニ、念仏ヲマウシタマヘ。念仏タニ申タマハ、極楽ニ往生シテ、八功德池ノ蓮華ヨリ化生シテ、夫婦ナカラ、ヒトツハチスノ菩薩トナリテ、阿弥陀如来ヲオカミタテマツリテ、觀音勢至ヲトモトシテ、不退転ノクラキニイタリテ、長世ノチキリラムスヒハンヘラン」ト、ス、メケレハ、婆羅門、ナラ、キ、ワケタルコ、ロナケレトモ、執愛ノ女房ノ申コトナレハ、カネノコエノキコユルタヒニ、『南無阿弥陀仏』ト申ケリ。サレトモ、コ、ロニ浄土ヲネカハサレハ、至心信樂ノ願ニモレタリ。アルトキ、コノ婆羅門、頓死シテ、七日ノアヒタニ、等活地獄ニオツ。多百千劫ヲ経テ、大苦惱ヲウケヘカリシトコロニ、獄卒、クロカネノマタフリヲモテ、釜ナル罪人ヲカキアハセシ

トシケルニ、マタフリ、釜ノ蓋ニアタリテ、響亮トナル。ハラモン、コレヲ、婆娑婆ニテキ、ナレタリシ、イリアヒノカネトコ、ロエテ、トリモアヘス、『南無阿弥陀仏』トイフトキニ、地獄ノ猛火、化生シテ、清涼ノ風トナル。釜ノウチ、ニハカニス、シキイケト變シテ、五色ノ蓮花、イロ々々ニサキミタレケレハ、無量ノ罪人、コト々々、ウカミアカリテ、一々ニ、菩薩ノカタチトナリテ、青黄赤白ノ花ノ台ニ座セリ。天ニハ、音楽奏シテ、珍妙ノハナフリミツ。

ソノトキ、獄卒ハ、クロカネノ棒ヲステ、ニケサリ、十王ハ、坐ラ下テ、タナコ、ロアラハセタマフ。『コハサテ、イカナル勝事ソヤ』トテ、俱生神ノフタノ文ヲ、タツネミタマフニ、『大唐ノ并州トイフクニ、有惡婆羅門カ、女房ニス、メラレテ、カネノコエノキコユルタヒニ、弥陀ノ名号ヲ稱スレトモ、往生ヲネカハサレハ、真実ノ信心ヲコラサリシユヘニ、罪障イマツキスシテ、非業ノ死ヲウケテ、コノ地獄ニオツトイヘトモ、釜ノ蓋ノナルニ、オトロキテ、弥陀ノ名号ヲトナヘタリ。自力不思議ナルニヨリテ、ハラモン、タスカルノミナラス、一業所感同類ノ罪人マテ、ミナコト々々、ウカミアカリテ、地獄ヤフレタリ』トミエタリ。

サルホトニ、コノ有惡婆羅門ハ、『念仏シナカラ不信ナルニヨリテ、非業ノ死ヲウケタルモノナレハ』トテ、カハサレケルホトニ、七日トイフニ、本宅ニ蘇生シテ、上件ノアリサマヲカタリシカハ、妻ノ有善女モ、イヨク大信心ヲカタメ、見聞ノ同俗、マス々念仏往生ノ本願ニ帰シテ、有善女ヲ善知識トタノミテ、イツレモ素懐ヲトケニケリ。

華嚴經ニハ、童尼婦人ヲ善知識トサタメ、法花經ニハ、淨藏  
淨眼ヲモテ、善知識ノ因縁トトカレタリ。妻子ハ身ノアタナレ  
トモ、仏法ヲス、ムルトキハ、コレ、真ノ善知識ナルユヘニ、  
妙莊嚴王モ、仏ヲオカミタマヘリ。眷屬ハ、心ノアタナレト  
モ、道心ヲ助成スルハ、マタ、真ノ知識ナルカユヘニ、善財童  
子モ、菩提心ヲヲコシキ。

イカニイハンヤ、觀無量壽經ニハ、「五逆ノ罪人ナレトモ、  
善知識ノス、メニヨリテ、弥陀ノ名号ヲ稱スルモノハ、一念ニ  
八十億劫ノ生死ノ重罪ヲ滅シテ、金蓮華ニ乗シテ、極樂ニ往生  
ス」トトケリ。

サレハ、大悲經ニハ、「ヒトヲス、メテ、念仏ノ行者トナスハ、  
大慈大悲ノ至極ナリ。衆生ノ苦ヲヌキテ、樂ヲアタフルユヘ」  
トホメタリ。アナカシコ、く。

ミツカラ信シテ行センヒトハ、他人ヲス、メテ、念仏セシム  
ヘシ。コレヲ經ニハ、「大悲ヲツタフルヒト」、ナツケ、釈ニハ、  
「真ニ仏恩ヲ報スル人ナリ」トイフナリ。アナカシコ、く。

江州 栗本出庭

西光寺

(いしかわ とおる・慶應義塾大学助教授)